

TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信

2018年5月15日

経営者の意識レベル

- ①セキュリティ被害を対岸の火事だとして、対策を進める意識の低い企業
- ②IT・セキュリティをビジネスの基盤として捉え、原価意識を持って費用対効果の高い対策をしようとしている企業
- ③過剰なセキュリティ意識により、ITの利活用を著しく制限している企業
- ④ITの利活用を事業戦略上に位置づけ、セキュリティを強く意識し、積極的に競争力強化に利活用しようとしている企業（政府の対策の目標）

経営者

組織の存続のためには
ITの活用が必要。その
ためにはセキュリティ対
策が必須

期待する効果と啓発対象者

経営者がセキュリティ対策の必要性を認識し、具体的な対策を実施できるように

管理者に対して経営者
へのレクチャーを支援す
ることが効果的

管理者がいな
ければ経営者
に対して

課題解決
意識改革



教育・指導



実施指示



TCYSS

情報の集約

情報
交換

国等の機関から
の情報発信
NISC
総務省
NICT
経済産業省
IPA
警察庁

企業経営のため
サイバーセキュリティ
の考え方
・サイバーセキュ
リティはやむを得ない「費用」でなく、
ITを利活用した
積極的な経営への「投資」と位置
付ける

国としてのガイドライン等

情報の内容要約
重要度・緊急度判断

セキュリティ関連情報

情報セキュリティ関連の
情報収集

ニュースサイト
(インターネット情報)

TCYSS参加組織

情報発信

ガイドブック、相談対
応ハンドブック
対応フロー、案内先

蓄積した情報に基づいて、
ユーザレベル毎に発信

電話相談
(東京都)

ガイドブック以上の詳細
な解説・助言

都支援事業等での出
張相談・個別助言
(東京都)

プレゼン用資料
詳細説明資料

「サイバーセキュリティ対策の
極意ポータルサイト」
Twitter, RSS等
(東京都・警視庁)

セミナー等での普及
啓発活動
(警視庁・TCYSS
参加組織)

ガイドブック

電子書籍
(PC,タブレット
、スマホで読める
もの)

冊子体

利用者が事前・緊急時ど
こでも見られるように
(ワンソースマルチユース)

IT,セキュリティに全く
関心のない企業には
情報セキュリティ対策
9か条を。
具体的な対策を検
討する組織には、ま
ず「ガイドブック」を
読むことを助言する